

2018年3月5日発行 平成29年度 第4号

# 栗原NN通信

『NN』とは業界用語で、『農業農村整備』の略称として用いているものです。

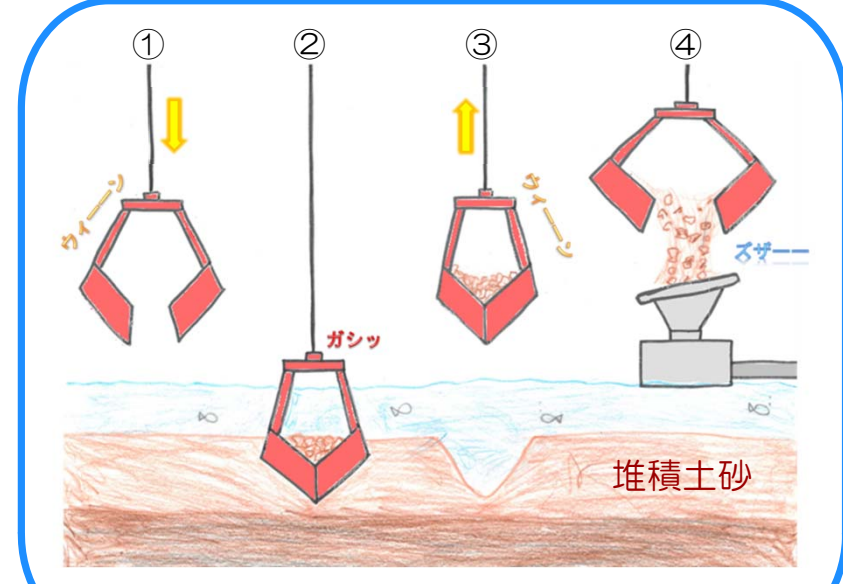


## ●栗駒ダムにおける本年度の浚渫作業が完了しました！

ダムの安定的な用水が確保できるよう取水塔周辺の堆積土砂の浚渫作業を本年度も実施しました。(V=5,000m<sup>3</sup>)

現在、栗駒ダムでは、浚渫作業を終え、平成30年度の農業用水の確保に向け、貯留を開始しています。

- 空気圧送船による浚渫作業の流れ
1. 浚渫船に搭載されているクラムシェルを掘削箇所に移動させます。
  2. 湖底に堆積した土砂をクラムシェルにより掘削します。
  3. 掘削した土砂を空気圧送船に運びます。
  4. 掘削した土砂は、埋木などの雑物を取り除き、ダム敷地内の貯泥池に空気圧送されます。



平成30年2月1日、当部及び迫川上流土地改良区、栗原地方ダム総合事務所の職員による現場研修会を開催しました。

研修会では、事業や施工方法の概要説明、浚渫状況の視察を行いました。参加者の皆さんは、浚渫工事現場を大変興味深く見学されていました。

## ●新規地区紹介(東田地区, 大目地区)

本年度「東田地区」、「大目地区」が農地整備事業の新規地区として事業採択を受けました。農地整備事業とは、農地の区画整理工事を中心に用排水路・道路・暗渠排水・客土等の総合的な整備を行い、大型機械導入による労働生産性の向上や農地の汎用化を推進し、農業競争力の強化を図る事業で、いわゆる「ほ場整備」を行う事業の事です。両地区とも、早期の工事着手に向けて現在、測量や設計作業が進められています。



### 東田地区

- 事業名：農地整備事業 (農業競争力強化基盤整備事業)
- 区画整理面積：80.7ha
- 事業費：1,600百万円
- 予定工期：平成29年～36年まで(8年間)
- 所在地：栗原市高清水

### 大目地区

- 事業名：農地整備事業 (農業競争力強化基盤整備事業)
- 区画整理面積：134.7ha
- 事業費：2,683百万円
- 予定工期：平成29年～34年まで(6年間)
- 所在地：栗原市若柳

### 両地区の課題

「管理が大変な土水路」

「すれ違い困難な狭い農道」

「作業効率の悪い小さいほ場」

「後継者の育成・担い手不足」

アンケート調査の結果から「後継者がいない」、「後継者がいるが、継ぐか分からない」、「農業をやめる・第三者に委託する」という結果が過半数を占め、農業従事者の高齢化・後継者不足への不安等の課題が見受けられます。

## 農地整備事業により課題を解決

農地整備事業の実施により、農作業の効率化や水路管理などの作業効率の改善を図り、併せて排水不良農地の改善と汎用化による転作作物等の作付面積の拡大を図ります。

併せて、農事組合法人等の担い手の育成を図り、農地集積や後継者問題などの新規地区が抱えている問題を解決していきます。



## ●平成29年度第2回農地集積研修会を開催しました！

当事務所では、農地整備事業実施地区において、大区画ほ場の農地整備と併せた営農規模の拡大や組織化、収益性の高い作物の導入に向けた支援を行い、地域の核となる担い手の育成を図っています。

北部地域（大崎・栗原）の整備済み面積は県内全体のおよそ4割以上を占めており、法人化を目標としている集落営農組織が数多く設立されています。このような集落営農組織の法人化支援等を目的とした『農地集積研修会』を大崎合同庁舎大会議室にて平成30年1月10日に開催し、約140名が参加しました。

研修会では、トヨタ自動車東日本株式会社ものづくり研鑽室の酒井学氏から組織的営農の効率化のヒントとなる『農業現場の業務改善への取り組み』について、農事組合法人iファーム三浦章彦氏と農事組合法人羽山の里佐野代表理事の矢吹純一氏から『法人経営の実践事例』についてご講演いただきました。

参加された方々は熱心に講演を聞くとともに、講演者に積極的に質問をしていました。研修後のアンケートでは「法人運営に関する具体的な話が聞けて良かった」等の感想が多数寄せられており、農作業改善に対する意識や法人化への意欲向上に繋がることが大いに期待されます。



トヨタ自動車東日本株式会社  
酒井氏講演状況

## ●栗原地域農業農村整備関係情報連絡会議を開催しました

平成30年1月22日、栗原合同庁舎会議室にて、栗原地域農業農村整備関係情報連絡会議を開催しました。午後3時から会議の冒頭に、参加者全員で3分間体操を行い、リラックスしてから会議に入りました。本会議は、5月に引き続き、本年度2回目の開催で、栗原市産業経済部農村整備課、迫川上流土地改良区及び小山田川沿岸土地改良区の担当職員が出席しました。

会議では、本年度及び来年度以降の栗原管内における農業農村整備事業や実施計画等について活発な意見交換が行われました。

今後も当部では、情報連絡会議を継続的に開催し、関係機関との情報共有を図り、円滑な事業推進を進めていきます。



### お知らせ

## 『金田火伏せまつり』ボランティアを募集します！

当部では、中山間地域等の農山村集落の活性化を図ることを目的に、援農ボランティアや都市農村交流の実施体制づくりを支援しています。

今回は、栗原市一迫金田地区で4年に1回行われる「金田火伏せまつり」にて、山車づくり・山車引きなどの作業を支援していただけるボランティアを募集します！

この『金田火伏せまつり』は藩政時代に金田地区を治めていた伊達家宿老遠藤公の時代からの伝統行事で、約250年の歴史があります。まつりは、川口囃子と掛け声をかけながら運行される山車・手踊り・獅子舞・鹿踊・神楽などの郷土芸能が一堂にそろって町内を練り歩くもので、地域の方々とふれあいながら、歴史や伝統文化についてお話を聞くこともできます。

ボランティアとして参加の希望のある方は、当部HPからお申し込みください！

【日時】

①3月25日（日） ②4月8日（日）

【場所】

一迫環境改善センター（仙台駅東口から送迎バス有）

【内容】

① 山車づくり・飾り付け ②山車引き・まつり



## 多面的機能支払交付金 活動の紹介

平成30年2月1日、栗原市一迫総合支所において、『一迫地域農地・水・環境保全向上対策連絡協議会』の学習会が開催されました。この協議会は、一迫地区で多面的機能支払交付金に取り組む17組織によって構成されており、今年度で設立から11年目を迎えます。

当日は各組織の代表者31名が出席し、今年度の活動状況の報告や、地域の抱える問題等について意見交換が行われました。いずれの組織も高齢化や活動への参加率の低下を懸念しており、いかにして参加者の負担軽減を図り、活動に取り組みやすくていけるかが今後の課題となっていました。

意見交換後は、栗原市産業経済部農業政策推進室より、来年度活動終期を迎える組織のスケジュールや留意点について説明がありました。当部からは、多面的機能支払関係の貸出可能DVDリストの他、当部HPで紹介した活動組織の記事や「栗原NN通信」を配布し、当事務所の農業農村整備事業をPRしました。



## 編集後記

栗原NN通信第4号をご覧いただきありがとうございます。

栗原NN通信は、栗原地域の「農業農村整備」の取組をPRすることを目的に、今年度から発行した広報誌で、年間を通して管内におけるイベントの他、工事の進捗状況なども紹介してきました。「栗原NN通信」を通して、少しでも「農業農村整備」を身近に感じていただければ幸いです。

「栗原NN通信」は、来年度以降も発行を継続していきますので、引き続きご笑覧ください。



春を待つ栗駒山

（平成29年2月当部執務室より撮影）



北部地方振興事務所栗原地域事務所農業農村整備部（広報担当）発行  
〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1

TEL:0228-22-2111

FAX:0228-22-9284

H P: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/>



仙台・宮城観光PRキャラクター  
むすび丸

